

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

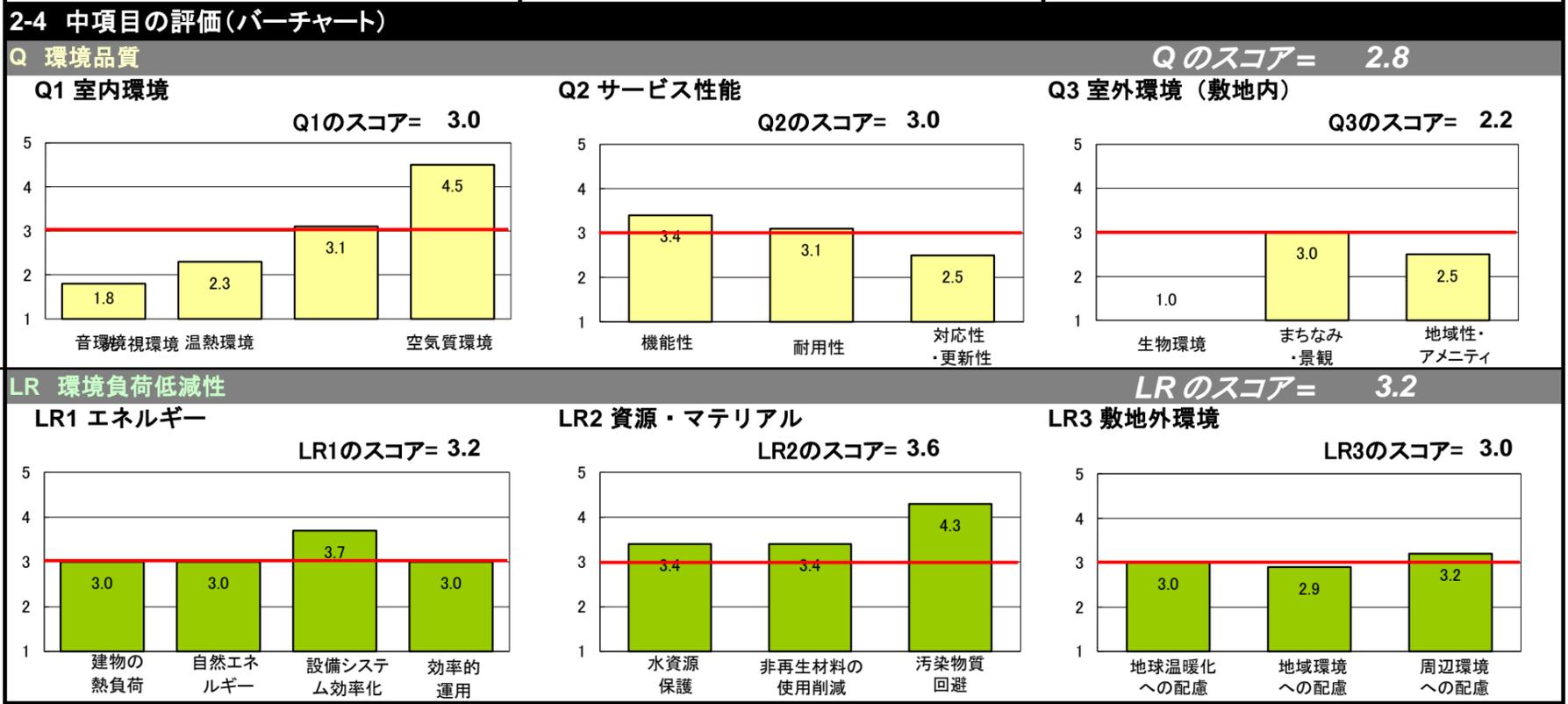
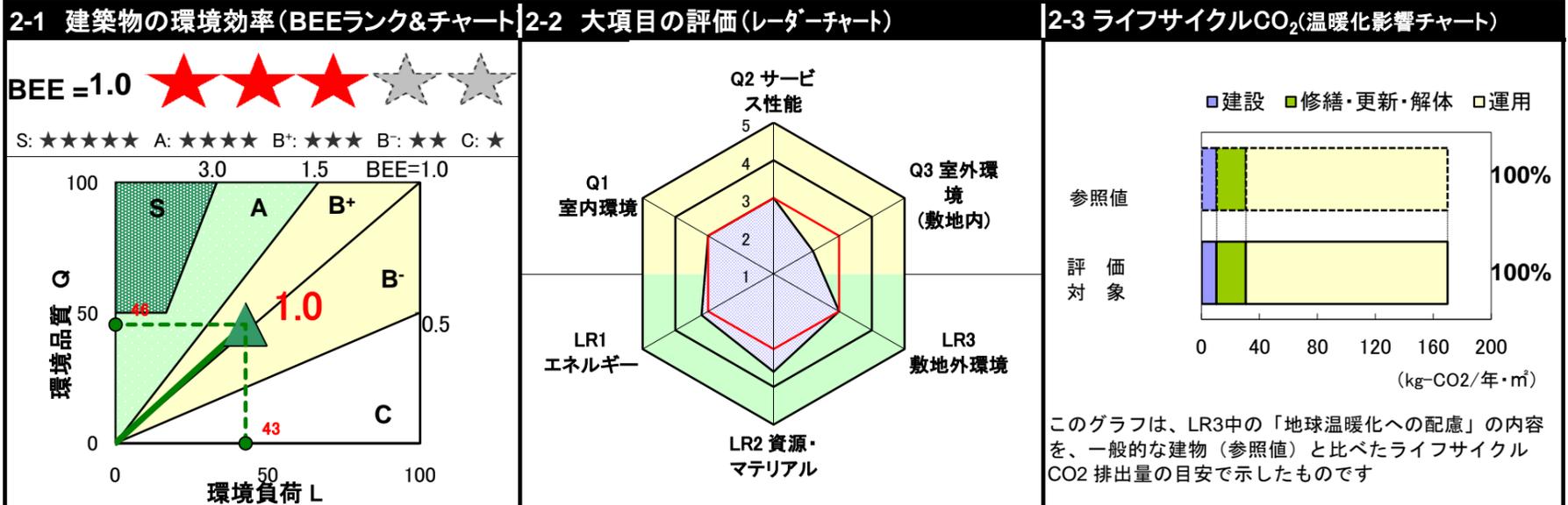
1. 建物概要												
建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)たのしえ鳥屋野サービス付高齢者向け住宅整備事業 中央区 鳥屋野字東割前110・103-12 二種中高層地域、防火地域指定なし サービス付高齢者向け住宅 2013年4月 予定 2,041.70 m ² 667.98 m ² 2,196.00 m ² 地上4F S造 実施設計段階評価 2012年10月5日											
2. CASBEE新潟の評価結果												
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46}{43} = 1.0$									
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★												
3. 新潟市の重点項目の評価												
1. 長寿化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.2		<table border="1"> <tr><td>バリアフリー</td><td>Q2.1.1.3</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>維持管理</td><td>Q2.1.3</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>更新性</td><td>Q2.3.3</td><td>3.0</td></tr> </table>	バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0	維持管理	Q2.1.3	3.5	更新性	Q2.3.3	3.0
バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0										
維持管理	Q2.1.3	3.5										
更新性	Q2.3.3	3.0										
2. 地震への取組み かけがえない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.3		<table border="1"> <tr><td>耐震・免震</td><td>Q2.2.1</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>信頼性</td><td>Q2.2.4</td><td>3.6</td></tr> </table>	耐震・免震	Q2.2.1	3.0	信頼性	Q2.2.4	3.6			
耐震・免震	Q2.2.1	3.0										
信頼性	Q2.2.4	3.6										
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 3.0		<table border="1"> <tr><td>雨水排水負荷低減</td><td>LR3.2.3.1</td><td>3.0</td></tr> </table>	雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0						
雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0										
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		<table border="1"> <tr><td>建物の熱負荷抑制</td><td>LR1.1</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>自然エネルギー利用</td><td>LR1.2</td><td>3.0</td></tr> </table>	建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0	自然エネルギー利用	LR1.2	3.0			
建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0										
自然エネルギー利用	LR1.2	3.0										
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.0		<table border="1"> <tr><td>節水</td><td>LR2.1.1</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>リサイクル材の使用</td><td>LR2.2.4</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>再利用可能性向上</td><td>LR2.2.6</td><td>5.0</td></tr> </table>	節水	LR2.1.1	4.0	リサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0	再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0
節水	LR2.1.1	4.0										
リサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0										
再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0										
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		<table border="1"> <tr><td>生物環境の保全・創出</td><td>Q3.1</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>敷地内温熱環境の向上</td><td>Q3.3.2</td><td>3.0</td></tr> </table>	生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0	敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0			
生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0										
敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0										
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 2.5		<table border="1"> <tr><td>まちなみ・景観への配慮</td><td>Q3.2</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>地域性への配慮、快適性の向上</td><td>Q3.3.1</td><td>2.0</td></tr> </table>	まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0	地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0			
まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0										
地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0										
4. 新潟市の重点項目の配慮事項												
新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。 1. 駐車場を浸透性アスファルト舗装として雨水排水の負荷軽減に配慮しました。 2. バリアフリー法 円滑化基準に則し、バリアフリー化に配慮しました。												

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)



2-5 設計上の配慮事項

総合	その他	
住宅街に建設する施設であるため周辺環境や景観に配慮して全面道路から離して配置し4階建でありながら階高を低くして周辺に配慮しました。		
Q1 室内環境 ルームの空調を個別形式とし温熱環境を個別に制御するように配慮しました。 断熱性能の向上・空調負荷の軽減の為、外部に面するすべての開口部をペアガラスとしました。	Q2 サービス性能 バリアフリー法 円滑化基準に則してバリアフリー化に努めました。	Q3 室外環境 (敷地内) 空地率を上げて自然の風の流れを阻害しないよう配慮しました。 バルコニー・屋根の軒の出による日陰の形成に配慮しました。
LR1 エネルギー ルームを個別に空調して不在ルームのエネルギーロスを抑えるよう配慮しました。	LR2 資源・マテリアル 節水コマや節水型便器や自動水栓等を積極的に採用して水資源の保護に配慮しました。 断熱材の発泡ガスやエアコンの冷媒ガスは環境負荷の軽減を図ったものを使用するよう配慮しました。	LR3 敷地外環境 アスファルト舗装を浸透性として雨水排水の負荷軽減に配慮しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される